

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年02月21日

計画の名称	大館市における自然と調和した潤いのある環境都市の実現（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	大館市												
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,578	A	1,578	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	大館市の下水道処理人口普及率を56.1%（H30当初）から57.5%（H31末）に増加させる。 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人） / 総人口（人） × 100	56%	%	58%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠(汚水)	新設	18処理分区(大田面・代野地区ほか)(公共)	汚水管 200~150、L=0.4km	大館市						61	-	
		地域種別:過疎																	
A07-002	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠(汚水)	新設	21処理分区(板子石地区ほか)(公共)	汚水管 400~150、L=2.9km	大館市							311	-	
	地域種別:過疎																		
A07-003	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠(汚水)	新設	9処理分区(象ヶ鼻・狐台地区ほか)(公共)	汚水管 200~150、L=4.2km	大館市							450	-	
	地域種別:過疎																		
A07-004	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠(汚水)	新設	施設計画の見直し	効率的事業計画策定	大館市							12	-	
	地域種別:過疎																		
A07-005	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠(汚水)	新設	1処理分区(川口地区)(特環)	汚水管 250~150、L=7.4km	大館市							730	-	
	地域種別:過疎																		
A07-006	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠(汚水)	新設	下水道広域化推進総合事業	測量・設計、L=1.3km	大館市							14	-	
	地域種別:過疎																		
											小計						1,578		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
											合計						1,578		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大館市下水道事業担当課により事業実施状況・指標の達成状況の確認及び評価を実施。	事業終了後（令和3年7月～令和4年2月）
	公表の方法
	大館市のホームページにて掲載する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	大館市の快適な暮らしを実現し、良好な環境の創造に寄与するため、計画的かつ効率的に下水道を整備することで、下水道処理人口普及率が1%増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本計画では定量的指標である下水道処理人口普及率の目標値（平成31年度末 58%）を達成することができなかった。今後はアクションプランに基づき低コスト技術の採用やPPP/PFI手法の導入により効率的に汚水整備を行うことによって、下水道処理人口普及率の増加を図り、大館市の住みよい住環境及び水質保全の実現に寄与していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率 58%（H31末）	
	最終目標値	58%
	最終実績値	57%
		供用開始区域内の人口減少に加えて、平成30年度整備地区の一部（象ヶ鼻・狐台）は在宅点在地区であるため、供用開始区域内人口が想定よりも少なくなり、目標を達成することができなかった。